

# 大念佛

No.99

発行／融通念佛宗

総本山 大念佛寺

大阪市平野区平野上町1-7-26

TEL.06-6791-0026

このQRコードで  
大念佛寺にアクセスできます。大念佛寺 検索  
<https://www.dainenbutsuji.com/>

題字：融通念佛宗 管長 吉村暉英



# 万部おねり

まんぶおねり

に寄せて

5月1日(水)  
▼  
5月5日(日)

融通念佛宗管長 吉村暉英

「大念佛寺の伝統行事「万部おねり」は、聖衆来迎会として、法明上人（一二七九～一三四九）が創設されました。南北朝時代の貞和五年（一三四九）、上人が最晩年に及んで、生前に臨終の行儀を習い、聖衆来迎の有様を面り拝したいと思いつ立ち、菩薩面、衣装、持物等を完備し、二十五菩薩来迎の盛儀を執り行われました。

その後、江戸時代の明和六年（一七六九）檀信徒と有縁の諸靈追善のため阿弥陀経一万巻を読誦する「万部会」が加わりました。来迎会と万部会という二つの仏事を一つに融合したのが現今の大念佛寺の「万部おねり」の法要です。

この法要の趣旨は、極楽浄土すなわち仏国土へのいざないです。別の言葉では厭離穢土、欣求淨土ということです。

平安時代の初頭、比叡山横川の恵心僧都（源信）は『往生要集』の中でこの言葉を詳説しています。平安時代はその名どは裏腹に天災地変・疫病流行が各地で広がり、この穢れた世界を厭い離れて理想的な安樂世界に生まれたいという願望が、人々の心に強く芽生えていました。しかしそれは生きる望

仏国土へのいざない

みを断つとか、死を急ぐとかということではありません。この人生を諦観（明らかに見る）すれば、この世を娑婆と心得て艱難辛苦に耐え、ひたすら仏国土への誘いを待つて、果報のため善根功德を積む生き方こそ、欣求浄土の生き方であるということです。

○俱會一處：俱に一處（極楽）にあいまみえるということ。この世は愛別離苦、会者定離の悲しみに満ちているが、お淨土では先に行つた人が後に来た人を待つてくれており、再び別れることがないということ。弔辭にはよく俱會一處のことが語られます。決して絵空ごとではなく、眞実の思いで語つてください。仏説に嘘いつわりは絶対ないです。

**阿弥陀經の執持名号と俱會一處**

来迎会も万部会も、その拠り所となる經典は阿弥陀經です。この中で説かれている二つの重要な語句を取り出してみます。

○執持名号：執とは手にとること。持とは保つこと。名号とは六字の名号、すなわち南無阿彌陀仏の念佛のこと。どんなときでも念佛を持ちづけ放さ

**うれし祭り**  
日時：5月3日(金)～5日(日)  
午前10時～午後4時  
場所：延喜殿3階 大ホール



# 令和6年 万部法要 奉納行事 日程・時間表

スケジュール

日程 時間	5月1日(水)	5月2日(木)	5月3日(金) 憲法記念日	5月4日(土) みどりの日	5月5日(日) こどもの日
	瑞祥閣	瑞祥閣	瑞祥閣	瑞祥閣	瑞祥閣
6時30分	半斎勤行 朝のおつとめ	半斎勤行 朝のおつとめ	半斎勤行 朝のおつとめ	半斎勤行 朝のおつとめ	半斎勤行 朝のおつとめ
9時30分	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦
10時					
10時30分		奉贊会 祈願法要			
11時	八島町 六斎念佛鉢講	東安堵 大寶寺 六斎念佛講	融通声明 コンサート 【融通声明研究会】	雅のハーモニー 雅楽演奏 【楽融会】	映画 「肩を寄せあって」
11時30分	大和各地の檀信徒に広がる 様々な念佛式を披露してく ださい。		心の琴線に触れる融通念佛 宗独自の「声明」を堪能して いただけます。	1200年以上の歴史を持つ 伝統音楽「雅楽」を融通念佛 宗「楽融会」の演奏により お楽しみいただけます。	「東京ドキュメンタリー映画祭 2023」の短編部門 準グランプリ作品 特設ステージ左側寺務所棟 2階
12時	魚山流 詠讃歌舞	仏教讃歌	魚山流 詠讃歌舞	仏教讃歌	魚山流 詠讃歌舞
13時	布教 関本 和弘 師	布教 磯田 良孝 師	布教 沢田 善秀 師	布教 村井 實道 師	布教 横田 丈実 師
14時	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)	菩薩による伝供式 (献華)
15時	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向	阿弥陀経 万部読誦 万部結縁 回向
15時30分					

※各種奉納行事の内容・時間については、変更する場合がございます。

## 行事紹介

- 布教 → 融通念佛宗布教師会による布演（お説教）を毎日行っています。
- 詠讃歌舞 → 味わい深い詠讃歌と華麗な舞踊をご披露いただきます。
- 仏教讃歌 → 心洗われる詞と美しい旋律の仏教コーラスをお届けいたします。

本年はお稚児さんの  
募集はしておりません

令和六年の「万部おねり」は、昨年同様本堂大屋根葺き替え工事のため、縮小の形ですが瑞祥閣等において厳修いたします。そのため菩薩による来迎橋おねり、あるいは団体参拝、稚児おねり供養はお休みになります。このように昨年は縮小を余儀なくされた中ではありましたが、法要と奉納イベントの同時進行二本立てに取り組み、それぞれ多くの参詣者を迎えるました。今年は、昨年とはうつてかわつて法要と奉納イベントは、参詣者の集まる瑞祥閣門前に「特設ステージ」を設置して執りおこないます。

今年は、昨年とはうつてかわつて法要と奉納イベントは、参詣者の集まる瑞祥閣門前に「特設ステージ」を設置して執りおこないます。今年は、昨年とはうつてかわつて法要と奉納イベントは、参詣者の集まる瑞祥閣門前に「特設ステージ」を設置して執りおこないます。

○上記万部法要奉納行事の日程・時間表のご案内

五日間とも、午前中は「特設ステージ」で奉納イベント（魚山流詠讃歌舞・仏教讃歌・布教含む）を執り行い、午後二時より、菩薩・僧侶が「特設ステージ」を経て入堂され、菩薩伝供式・万部読誦法要・万部結縁回向と続きます。是非とも目の前で執り行われる「万部本行のお勤め」にご参詣ください。

# 「万部おねり」

（雨天変更あり）参詣者の目の前に敢えて出向いての万部法要厳修になります。延喜殿三階は物産展、露店、マルシェ等の会場となります。



## 映画「肩を寄せあって」 横田丈実監督作品 上映会

五月五日十時半 特設ステージ左側  
寺務所棟二階

「肩を寄せあって」は融通念佛宗布教師会の横田丈実師が監督をしたドキュメンタリー映画です。横田師は大学在学中より映画製作を始めて今回が十七本目の作品となります。奈良県斑鳩町の美しい風景を背景に人々のつながりを綴りました。「東京ドキュメンタリーアンバサダーズ」の短編部門にて応募総数一七二本の中より次点となる準グランプリに選ばれています。上映時間は五十二分です。万部法要の良き日に映画を通して融通の心に触れてみませんか。

作品の詳細はこちらの公式ホームページをご覧下さい。  
<http://www.katawoyoseattle.com>

淨蓮華院は、京都大原來迎院の数ヶ寺ある子院の一つです。呂川に沿った道を來迎院に向かって登っていくと、淨蓮華院の山門があります。山号は魚山といい、天台宗の寺院で、本尊は

淨蓮華院は、京都大原來迎院の数ヶ寺ある子院の一つです。呂川に沿った道を來迎院に向かって登っていくと、淨蓮華院の山門があります。山号は魚山といい、天台宗の寺院で、本尊は

### 融通念佛授與之法

先三禮 師資・金時

次懺悔 弟子取次弟

我昔所造諸惡業  
皆由無始貪瞋癡  
從身口意之所生  
一切我今皆懺悔

次三皈 各一爻

我今歸依佛、皈依法  
皈依僧 三爻 合併依佛境  
皈依法境 合併依僧境

次 三反

弟子某甲 融通念佛毎日百反  
畢命爲期誓言不中止彼我互  
融億百万返無量無數大功  
德力自他平等往生極樂  
次授十念 次血脉 授資  
次回向 穎以此功德

次三禮 終り

淨蓮華院には「融通念佛授與之法」

蓮華院には「融通念佛授與之法」

蓮華院には「融通念佛授與之法」



光明遍照十方世界念佛  
衆生撫取不捨融通念佛  
南無阿弥陀佛 百反  
次大師發明之文

十界一念 融通念佛  
億百万反 功德圓滿

爲本願聖應大師威光增益

爲毘沙門天王名帳之天衆  
地類天神地祇等 念佛

爲念佛同行現世安隱後  
生極樂

阿彌陀如來です。創建の詳細や  
変遷は不明ながら、伝承による  
と平安時代後期、天仁二年（一  
〇九）、良忍上人が來迎院を  
再興した時、ともに建立したと  
伝わっています。融通念佛の本  
堂で、良忍上人の住坊として使  
われたそうです。後に淨蓮華院、  
蓮成院、善逝院、遮那院の総称  
として來迎院と称されました。

また、各宗派の管長、特に總本  
山大念佛寺五十九世法主山上戒  
全大僧正とは親しく、『融通聲  
明集』の序文も書いておられます。

現在の住職、多紀穎忍師も聲  
明の法流を受け継ぎ、「大原魚  
山塾」を主宰し、宗派、年齢に  
かかわらず、後進の指導に親切  
にあたっておられます。

▲日課次第作法  
（上 下二  
卷）」の出版  
や從來の聲明  
の博士を西洋  
楽譜に変えて、  
確実な曲節を後世に残されました。

師は昭和二十七年入衆、四十  
年に東大阪市森河内にある壽量山  
圓通寺の住職に就き、以来五十年  
以上務められています。昭和四十  
など管長猊下の前座導師を勤めら  
れます。

師は昭和二十七年入衆、四十  
年に東大阪市森河内にある壽量山  
圓通寺の住職に就き、以来五十年  
以上務められています。昭和四十  
など管長猊下の前座導師を勤めら  
れます。

はあります。選任していただきて有  
り難く嬉しく思います。しっかりと  
と職務を果たしたいと思います」

この度の就任にあたり「憧れの名  
誉職で、望んでいてもなれる職で  
はありません。選任していただきて有  
り難く嬉しく思います。しっかりと  
と職務を果たしたいと思います」

# 魚山淨蓮華院

日課次第作法

先三禮

と「日課次第  
作法」という  
次第が伝わっ  
ており、その  
昔、念佛勸進  
が行われてい  
たことがうか  
がわれます。

また、現住  
職の祖父にあ  
たる多紀道忍  
師は近代の聲  
明道の名匠で、  
『聲明大成

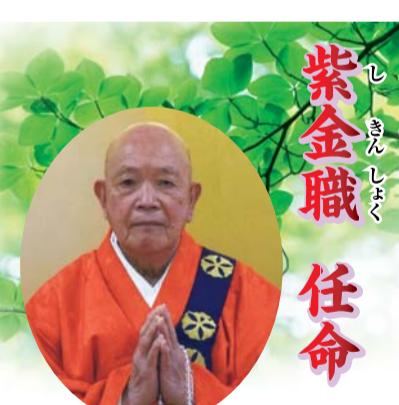
令和六年度の栄誉ある紫金職は、  
第二教区の神崎壽甫師が選ばれ、  
二月一日に就任されました。一年間、  
大念佛寺の三祖忌法要、万部法要  
など管長猊下の前座導師を勤めら  
れます。

令和六年度の栄誉ある紫金職は、  
第二教区の神崎壽甫師が選ばれ、  
二月一日に就任されました。一年間、  
大念佛寺の三祖忌法要、万部法要  
など管長猊下の前座導師を勤めら  
れます。

令和六年度の栄誉ある紫金職は、  
第二教区の神崎壽甫師が選ばれ、  
二月一日に就任されました。一年間、  
大念佛寺の三祖忌法要、万部法要  
など管長猊下の前座導師を勤めら  
れます。



淨蓮華院山門



かんざき じゅ 壽甫 師

その後各種委員を歴任され現在は  
宗政調査委員をされています。融通  
念佛宗や本山の発展に熱い思  
いを持っておられ、平成十一  
年に教区長、平成二十六年に  
は宗議会議員を務められました。  
また、圓通寺の本堂や山門  
などを新築整備され、各種法  
要の中でも二月三日の節分では星  
祭りの大護摩法要、八月十五日盂  
蘭盆では万灯の施餓鬼法要を厳修  
されています。



青年会では今年も「ぼさつさま  
ぬりえ」の展示を行います。コロ  
ナ禍の影響により、しばらく中止  
となつておりましたが昨年の再開  
時には参詣いただいた皆さまから  
「ぬりえが復活してよかったです」、  
「青年会さんガンバレ!」といつ  
た温かい声を頂戴し、胸がいっぱい  
になりました。

今回のデザインは二十五菩薩練  
り供養で最後  
お持ちの香炉で  
お出でされる「無  
辺身菩薩」です。



融通念佛宗青年会

未寺巡礼  
稱念寺

堺市東区日置莊西町  
ひきょうじよしちょう

稱念寺は、堺市東区日置莊に在ります。山号は紫雲山。この日置莊という地名は、大和政權に仕えて太陽の祭りになっていた日置氏が住まいしていたこと、また奈良興福寺の莊園があつたことに由来しています。



本尊 阿彌陀如來

## 大念佛寺 インスタグラム始めました



このQRコードでアクセスできます。

DAINENBUTSUJI.1117



稱念寺 全景

創建については不明ですが、中世に遡る由来を持ち、もとは浄土宗の寺院で、正保二年（一六四五）中興と伝えられ、その頃に融通念佛宗の寺院に転じたと推察されています。文禄四年（一五九五）以来、日置家の菩提寺であり、日置家の歴代の位牌もおまつりされています。本堂脇には、洞窟状の壁面に立体的に配置された、多くの観音像が収められています。中央の千手観音を中心にして岩屋の中に観音菩薩像がならびます。これは、西国三十三所靈場の観音像を表し、配置の様式は大変貴重なものと考えられます。

ご本尊は、阿彌陀如來立像。螺



西國三十三所 観音群像

## 「令和の本堂大改修」記念連續講演会のご案内

本堂大改修の機会に有形文化財に因んだ計八回の「記念連續講座」が現在開催されています。我が国の文化財保存や伝統建築における専門家を講師としてお迎えしており、是非この機会にご来場ご聴講ください。

よう改めてご案内いたします。

### △開催日時と講師およびその内容

- ・四月十三日（土）午後二時より  
講師 京都大学名誉教授  
鈴木祥之先生

- ・四月二十日（土）午後二時より  
講師 東京大学名誉教授  
藤井恵介先生

- ・六月二十二日（土）午後二時より  
講師 大阪市史編纂所所長  
尾崎安啓先生

- ・六月二十二日（土）午後二時より  
講師 平野郷と大念佛寺  
鉢谷和也先生

- 当座回向「本堂前テント」**
- 受付された日より五日間瑞祥閣（仮本堂）にて各僧侶により一斎回向

- 万部常回向「本堂前テント」**
- 受付された日より五日間瑞祥閣（仮本堂）にて各僧侶により一斎回向

- ロウソク勧進「本堂前テント」**
- 願いと感謝の心を燈火に託してください。

多田俊彦先生  
テーマ「金剛組の歴史」寺社建築をお護りする仕事

「家内安全」「病氣平癒」「身体堅固」「心願成就」など具体的な祈願もお願い下さい。

樂邦殿（納骨堂）にて受付順にお勤め 約十五分いたします。  
焼香していただけますが混雑が予想されます。ご理解のほどお願いいたします。

## 銅板瓦御寄進について

銅板設置作業特別見学  
締め切り迫る！

自分の名が記された銅板と記念撮影のチャンス！

大阪府下最大の木造建築である大念佛寺の本堂は、近い将来には国の重要文化財指定に臨む貴重な建造物とされています。現在はその前提となる大阪市指定文化財となっています。

工事が始まって以来、多くの皆様方に「銅版瓦ご寄進」にご協力を頂いて参りました。おかげさまで工事も順調に進み、いよいよ「新しい銅版の設置作業」の日程が迫って参りました。

- ・大念佛寺へご来山いただきか、大念佛寺ホームページを経由した寄付サイト（コングランツ瓦勧進ページ）にてお申し込みください。

- ・令和六年七月を想定しています。

- 大口ウソク（御本尊用）千円  
(八月十六日 万灯会用)三百円**

- 申込方法**

- ・限定四十組 八十名様  
・寄進料十万円以上

- 募集中人数**

- ・募集人数  
カップロウソク  
（八月十六日 万灯会用）三百円

話せば心も軽くなる大阪仏教テレホン相談室  
仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。月曜日～金曜日（八月休）でんわ〇六（六九四九）九〇一〇 午後二時～五時迄

長野県のまだ雪の残る飯綱高原で百武彗星を観ました。その彗星は青白い火の玉で、そして銀の粉を散らしたような長い尾を引いていました。その尾は、暗い静寂の中で北斗七星を貫き、視界の半分以上の長さがあつて、まるで火の鳥、鳳凰が地上に向かって飛んでいるかのようでした。私は開けた木立の中に一人いてその神秘的な姿と向き合っていました。何か宇宙からの啓示を受けているような不思議な感覚でした。近年インターネットの普及で、観るこトが困難な映像や画像がディスプレイ画面で簡単に見ることができるようになりました。しかしそれは、ただ頭脳に記憶されるだけのもので、観る人にとって周りの自然そのものを体感することはできないでしょう。人は時に、

つなみに、今年十月に金星以上の明るい彗星が観測できるかもしれません。

喜法

つまましては、この時期を迎えて「施工会いの銅版設置作業（記念写真撮影込み）」の最終的なお申し込みのチャンスともなりますので、ここで改めてご案内いたします。

△案内内容

自分の銅板が大念佛寺本堂大屋根に葺かれる。

改修途中の本堂に特別ご招待し、工事現場にご案内。

ご眼前で設置作業を実施。記念撮影。



インターネットからも受け付けています

クレジット、銀行振込も対応